

2456, 2

# 支那事変

支那事変

S 1.1.1.0 - 27

6312

0001

2457

第一部	支那事変ノ勃發及事變發展ノ方針ニ對シテノ見解
第二部	支那事變初期ニ於ケル三國ノ關係問題・世界經濟問題
第三部	支那事變下ニ於テノ國際形勢
第四部	支那事變下ニ於テノ支那經濟問題
第五部	支那事變下ニ於テノ支那政治問題
第六部	支那事變下ニ於テノ支那外交問題
第七部	支那事變下ニ於テノ支那軍事問題
第八部	支那事變下ニ於テノ支那文化問題

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6313

0002

REEL No. A-0227

2456.2

# 支那事變

支那事變

1.1.1.0 - 27

6312

0002

2457

第一部	支那事變ノ勃發及事變處理方針並ニ初期重要決定事項 (附録) 支那事變日誌及重要決定事項一覽表
第二部	支那事變初期ニ於ケル第三國ノ權益問題、租界關係問題 及海關通商情報問題
第三部	支那事變ト國際聯盟及九國公約會議
第四部	支那事變ノ進行問題、天津事件、通商通商問題
第五部	臨時政府、維新政府及救國護法政府成立經過(附其地方 政府)
第六部	南京國民政府成立經過
第七部	日華基本條約ノ締結及日華通商通商問題
第八部	國民政府事變ニ伴フ諸取極及日華通商通商問題ノ締結

外務省

1.1.1.0 - 27

6313

0002

REEL No. A-0227

アジア歴史資料センター

2459

國民政府參戰三伴ヲ諸取極及日華同盟條約締結
目次
一、國民政府參戰三伴ヲ諸取極締結
二、對華新政策ノ決定實施
三、日華同盟條約締結

外務省

S 1.1.1.0 - 27 6315

0004

2458

國民政府參戰三伴ヲ諸取極及日華同盟條約締結
-----------------------

外務省

S 1.1.1.0 - 27 6314

0003

REEL No. A-0227

アジア歴史資料センター

之ニ對シテ帝國<sup>見解</sup>國民政府ノ施策ハ先ヅ占據地域ヲ  
 主眼トス<sup>政府ノ施策ヲ對シテ</sup>キモノニテ參戰等ノ對外施策又ハ國權回  
 復乃至ハ敵側權益回收<sup>目標</sup>ヲ目標トスルカ如キ施策  
 ヲ採ルト<sup>ニシテ</sup>帝國ノ戰爭遂行上必要トスル在支敵國  
 權益ノ實現ヲ困難ナラシムルニト、國民政府參戰ノ政  
 治的效果ヲ大ナラシムル日華關係ノ公正ナル調整實  
 施並提携強化乃至國權回復援助ノ實カ未ク揚

國民政府參戰ニ伴フ諸取極及日華同盟條約締結  
 一、國民政府參戰ニ伴フ諸取極締結  
 國民政府自<sup>ニシテ</sup>大東亞戰爭勃發以來<sup>東亞</sup>米英ノ極格ヨリ  
 解放セシ大東亞<sup>ニシテ</sup>新秩序ヲ建設<sup>ニシテ</sup>東亞<sup>ニシテ</sup>米英ノ極格ヨリ  
 參加シテ民心ヲ<sup>ニシテ</sup>戰爭遂行ニ歸一集中セシムル<sup>ニシテ</sup>
 體<sup>共ニ</sup>專政政治力ノ滲透ヲ促進シ帝國ニ對スル戰  
 争協力ノ實ヲ發揮<sup>ニシテ</sup>戰争遂行ニ對シテ<sup>ニシテ</sup>前戰以來其  
 要旨ヲ申出スル所アリタリ

結果、連日華關係ノ調整在支敵産ノ處理其ノ  
 他提携強化ノ措置乃至支那側ノ國權回復ノ希望  
 ニ對シテ帝國ノ自主的<sup>ナル</sup>意圖<sup>ヲ</sup>基<sup>キ</sup>事<sup>ヲ</sup>前<sup>ニ</sup>公正妥當  
 ナル措置ヲ講スル等諸般ノ準備ヲ進メ其ノ見透  
 著<sup>キ</sup>ナル後寧<sup>ク</sup>口<sup>ヲ</sup>成<sup>ス</sup>ヘク速ニ國民政府ノ要望ヲ  
 認<sup>ム</sup>ルニト適當ナリトノ結論ニ到達<sup>セリ</sup>斯<sup>レ</sup>テ昭和  
 十七年十月二十九日政府大本營連絡會議ニ於テ

S 1.1.1.0 - 27 6319

0008

リ居<sup>ラ</sup>サルニト滿洲國ノ參戰誘發ニ依リ對蘇關係  
 ノ利戦スルニト及國民政府ノ念類<sup>ク</sup>タル全面和平ニ  
 障<sup>ハ</sup>害<sup>ス</sup>アル<sup>ヲ</sup>懼<sup>ム</sup>ルニト等<sup>ク</sup>ヨリ之ヲ抑制シ来<sup>リ</sup>タルモ國民  
 政府參戰<sup>ノ</sup>要望ノ<sup>一</sup>趣<sup>旨</sup>ハ妥當<sup>ナル</sup>ニナラス徒ニ  
 其ノ要望ヲ抑止スルニトハ其ノ主權ヲ没却スル  
 一<sup>嫌</sup>ハ<sup>レ</sup>限<sup>ル</sup>ニ<sup>非</sup>ズ<sup>ル</sup>參戰ニ伴フ弊害ヲ除ク<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>ハ帝國  
 ノ意圖<sup>ト</sup>ニ合<sup>ス</sup>ル<sup>ヲ</sup>以テ各方面ヨリ檢討ヲ加<sup>ヘ</sup>タル

S 1.1.1.0 - 27 6318

0007

付及治外法權撤廃等ニ関スル日本國中華民國間協定  
 日華共同宣言ニ関スル交換公文」及「在支敵産管理  
 ニ関スル交換公文」締結セラレ同日公表セラレタリ  
 二、對華新政策ノ決定實施  
 帝國トシテハ國民政府參戰ヲ機<sup>トシテ</sup>所謂對華新政策  
 ヲ決定東施<sup>ニシテ</sup>トシタリ<sup>トシテ</sup>十七年十二月二十一日  
 御前會議決定「大東亞戰爭完遂ノ為、對支實

8 1.1.1.0 - 27

6321

0010

國民政府、參戰並之ニ伴フ對支措置ニ関スル  
 件<sup>トシテ</sup>決定次テ十一月二十七日連絡會議了解ヲ  
 以テ「國民政府參戰ニ伴フ諸準備ニ関スル件」其ノ  
 他ヲ決定セリ而シテ參戰ノ時期ヲ一應十七年中  
 トノ見透<sup>トシテ</sup>ノ下ニ必要ナル準備ヲ進メ汪主席ノ未朝  
 ニ依リ最終的打合<sup>ハ</sup>了セリ<sup>トシテ</sup>斯ニ十八年一月九日「戰  
 争完遂ニ付テハ協力ニ関スル日華共同宣言」「租界ノ還

8 1.1.1.0 - 27

6320

0009

東亞戦争完遂ノ為ノ對支處理根本方針ニ基ク諸  
 施策ノ實施時期区分大綱腹案(昭和十八年一月三十  
 九日)租界還付及治外法權撤廢等ニ関スル日華間  
 協定ノ實施計畫大綱(案)(昭和十八年一月)ニ  
 見ルハ中間的實施狀況ハ對支處理根本方針ノ  
 實施概況(草案)(昭和十八年七月)大東亞省支那事  
 務局(三卷)ニ參照スル尚大東亞戦争完遂ノ為

理根本方針ハ此ノ根本方針ヲ盛リテ以下強力ニ推  
 進スルニトシテ然レニ帝國ノ戦光必スモ良好ナラス又  
 新政策モ政治面施策ノ進行ニ依リテ經濟面施策  
 ハ其ノ具体化ニ當リテ當初期待ノ如ク實施セラ  
 レス所期ノ如キ大ナル政治的效果ヲ擧ケタリト言ヒ難  
 キ也  
 唯帝國ノ對華政策ノ確立ハ其ノ改善ヲ進歩  
 進歩タルハ論ナキ所ナリ新政策ノ具体的計畫ハ大  
 中興ニ於テハ實施

英皇ハトシテハ昭和十二年十月一日總理外陸海木臣決  
 定「支那事変對策要綱」及同年十二月二十四日閣  
 議決定「事変對策要綱(甲)」アリ次テ同十三年一  
 月十日御前會議ヲ以テ「支那事変處理根本方針」決  
 定セラレ茲ニ日支和平<sup>條件</sup>、根本方針<sup>確定</sup>セラレタリ更ニ同年  
 十月三十日御前會議決定ニ係ル「日支新關係調整方  
 針」ニ更リテ一層詳細具體的ニ根本方針<sup>確定</sup>

外務省

對支處理根本方針<sup>中ニ決定</sup>日華<sup>セシ</sup>基  
 本條約及附屬諸取極ノ修正亦對華新政策ノ重  
 要部分ト云フ<sup>ト云フ</sup>日華同盟條約<sup>後ニ</sup>  
 ノ締結トナリテ具現<sup>カ</sup>見<sup>ル</sup>トナリ  
 三、日華同盟條約ノ締結  
 支那事変處理方針カ當初ノ事変不擴大方針  
 ヲ放棄スル<sup>ハ</sup>已<sup>ニ</sup>無<sup>キ</sup>ニ至<sup>ル</sup>以後ノ最初<sup>ノ</sup>根本方針<sup>(處理)</sup>

外務省



國策思想 其一頁に居ルハ之ヲ認メサレテ得ス之東亞  
 目指セシ 根幹トシ  
 安定勢力ヲ所期ニタル帝國トシテハ已ラ得サルモノ  
 又トハ言ハ支那ニ對スル斯ナル態度ノ反省改善スル  
 キモノアリトノ有力ナル意見ハ支那事変前  
 事変中ヲ通シ  
 其自ラ存シタル所ナリ 然ルニ大東亞戦争ノ戦局ノ経過  
 支那事変情勢ノ推移 對事変施策ノ果實 功罪  
 檢討並ニ米英側ノ對重慶政策ノ變遷 等ノ結果  
 外 西ノラ  
 研究  
 結果

立運動中ニ於ケル折衝ノ基準トナリ一時ハ昭和十四  
 年十月三十日(内約)日支新關係調整ニ関スル協議書類  
 會議ニ 會子  
 日本側ノ主張トナリ 更ニ十五年十一月三十日調印ノ日事  
 基條約及附屬諸取極ニ具體化セルモノナリ  
 以上日華基本條約迄 締結 多クニ實流トシ 帝國ノ方針トシ  
 テハ何トシテモ東亞ニ於テ 出表得ル限 勢力樹立ヲ  
 不効ノ外 諸 省

◎事変處理根本方針ハ結局重慶の抗日ノ根據  
 名目ノ覆滅ニ在リト自覺スル事ト見  
 京政府ノ國內政治上ニ於ケル立場ヲ有利ナラシムル爲メ  
 自覺スル事ト見 茲ニ事変處理方針ハ日華  
 本然ノ新關係ヲ局面打南リ方針ヲ樹  
 立スレトノ意見政府大本營部内ニ動カシ難キ迄上有  
 カトナリ 斯テ遂ニ帝國ノ對華政策ヲ一新スル如  
 (政策)

S 1.1.1.0 - 27 6328

0017

キ驚愕瑣々ト特殊權益留保ニ對スル反省トナリ直  
 ニ支那國民ノ要望ニ合スル公正妥當ナル日華關係  
 ヲ規律スルカ如キ新條約締結ノ議ヲ出テ未  
 且ハ同盟條約ヲ決定シテ決意スル  
 日華大東亞全域ニ對スル方針ノ本環ヲ即チ支  
 那事變大東亞戰爭ヲ通シ推移成長シ来リタル帝國  
 對華政策ハ茲ニ廿日華同盟條約ニ於テ其ノ最  
 終的表現理想ヲ表現スルモノナリ日華同盟條約  
 (續論) (ヲ見)

S 1.1.1.0 - 27 6329

0018

2475

添付関係記録資料目録	
國民政府參戰並ニ之ニ伴フ對支措置	申渡
ニ関スル件(要旨)	(昭和十七年十月二十九日 政府大本營連絡會議決定)
國民政府參戰問題	(谷、青木、重光會談結果)
	(昭和十七年十月十三日)
國民政府參戰ニ伴フ諸準備ニ關スル件	(昭和十七年十月二十七日 連絡會議了解)

S 1.1.1.0-27

6331

0020

外務省

2474

精神ハ政府大本營ノ締結要綱案同説明書ニ帝	
國民政府交渉ノ經過	(及(帝國) 國內審議ノ過程)等ニ
明カヤ	見ラレ、所ニ付テ格添付関係記録資料ニ依リ參
照セシメシ	

S 1.1.1.0-27

6330

0019

外務省

戰爭完遂ニ付テノ日華協力ニ関スル取極ノ件  
 (昭和十七年十一月二十七日  
 連絡會議了解)

九龍租借地ニ關スル件  
 (昭和十七年十一月二十七日  
 連絡會議了解)

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ  
 基ク具體的方策  
 (昭和十七年十二月十八日  
 大本營政府連絡會議決定)

外務省

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針  
 ニ基ク具體的方策ニ準據シ國民政府參戰ヲ機トシ  
 同政府ト締結スヘキ諸取極ニ関シ措置要領  
 御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理  
 根本方針」ニ関シ内閣總理大臣提案理由説明  
 御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支  
 處理根本方針」ニ関シ外務大臣説明

外務省

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針  
 (昭和十八年一月四日閣議決定)

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ  
 基ク具體的方策  
 (昭和十八年一月四日  
 閣議決定)

昭和十八年一月八日 樞密院審查委員會ニ於ケル  
 內閣總理大臣說明案  
 (昭和十八年一月八日)

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6335

0024

御前會議 議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支  
 處理根本方針」ニ關スル大東亞大臣說明  
 丁大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針  
 (昭和十七年十二月十八日  
 大本營政府連絡會議決定)

丁大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針 (御前會議議題)  
 (昭和十七年二月二十一日決定)

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6334

0023

2481

日華共同宣言ニ関スル交換公文  
 (昭和十八年一月九日)  
 (参考)  
 第一 汪行政院院長ノ東條總理大臣ニ對スル談話要領  
 第二 東條總理大臣ノ汪行政院院長ニ對スル談話要領  
 在支敵産處理ニ關スル交換公文  
 (昭和十八年一月九日)

外務省

S 1.1.1.0-27

6337

0026

2480

戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言、租界、  
 還付及治外法權撤廢等ニ關スル日華間協定ニ關スル  
 外務大臣説明  
 (昭和十八年一月八日)  
 丁戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言  
 (昭和十八年一月九日)  
 丁租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間  
 協定  
 (昭和十八年一月九日)

外務省

S 1.1.1.0-27

6336

0025

2483

研究項目概要	(昭和十八年一月二十九日 十八年二月三日附議)
諸施策、実施時期區分大綱草案	
大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク	
國民政府ノ宣戰布告文(邦譯文)	(昭和十八年一月九日午前十時發表)

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6339

0028

2482

協定説明書	(昭和十八年外務省條約局)
帝國政府聲明	(昭和十八年一月九日午後零時三十分)
首相談	
戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言竝ニ 租界還付及治外法權撤廢ニ關スル日本回中華民國間	

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6338

0027

連絡會議經過	(昭和十八年五月二十九日)
大東亞政略指導大綱	
御前會議 議題及說明案修正件	(昭和十八年五月三日)
內閣總理大臣 說明案	
幹事會議(書記官長以下局長)ニテ	
二案修正決定セルモノ	

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6341

0030

租界還付及治外法權撤廢等ニ関スル日華間	
協定ノ実施計畫大綱	(昭和十八年一月)
對支處理根本方針ノ実施概況	
大東亞政略指導大綱ニ關シテ	(昭和十八年五月二十七日)
政務局長記	

外務省

S 1.1.1.0 - 27

6340

0029



2487

10

10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	重光大臣	公大使	重光大臣	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内
10.15	公大使	重光大臣	公大使	重光大臣	日華同盟條約公表ニ関スル件	内

S 1.1.1.0 - 27 6343

0032

2486

日華基本條約改訂同盟條約締結要綱案	
(昭和十八年九月二十日 大本營政府連絡會議決定)	
說明書	
(昭和十八年九月十八日)	

S 1.1.1.0 - 27 6342

0031



17  
14

在華大使館來稿譯文	
日華國中華及國同盟條約調停之際在華大使館長行政院長	( )
交往稿	( )
帝國政府聲明	( )
東條內閣總理大臣談話	( )

外務省

8 1.1.1.0.-27 6347

0036

13

日華國同盟條約締結交渉口上實況(附和十八年十月十日)	( )
附南大政極秘第一七一号公使長青市大臣來信( )	( )
日華國同盟條約締結交渉口上實況(附和十八年十月十日)	( )
在華大使館長青市大臣來電報( )	( )
樞密院會議要旨(於十八年十月十日)	( )
向同盟條約說明書	( )
日本國中華及國同盟條約草案樞密院精査會報告書	( )
又根要	( )
中華本國中華及國同盟條約說明書	( )
中華本國中華及國同盟條約	( )
附原稿定書	( )
日本國中華及國同盟條約調停之際行政院院長	( )

外務省

8 1.1.1.0.-27 6346

0035

2493

電信案

(一) 参戦ト共ニ帝國ニ在支帝國租界ヲ國民

此ノ際原則トシテ之ヲ移管スルコト

スルトハ敵産ニ準リ上ニ中略セラルルヲ除キ

ニルニテ敵産ニ参戦後之ヲ國民政府ニ移管

ハ之等帝國ニ帰属セリ(ナ) 措置ヲ完了スルト共

(一) 敵産中帝國カ大东亚陸海上取付ノ要スルモノ

ニ右措置ニ対シテ以下ノ強件ヲ實施スルコト

(原議用紙乙)

2 S 1.1.1.0-27 6349

0038

2492

(分類)

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 27

6348

0037

以下印刷

局七

天

電報課長

主管	東京局長	主任	電光 大佐
電送第	年月日	時分	昭和7年10月30日 起草
宛	在東京	電光 大佐	
宛	在天津	曹錕總督代行	
宛	在北京市	牛抱 参事官	
名	國民政府ニ参戦後之ニ伴フ	發	大臣
件	對支措置ニ関スル件	記録件名	昭和十七年十月二十九日 政府大本堂運送修言(決定)
件	對支措置ニ関スル件		

參戰ト共ニ帝國ニ在支帝國租界ヲ國民政府ニ移管スルコト

對支措置ニ関スル件

協定乃至取付ノ要スルモノ

對支措置ニ関スル件

電信案

(五) 九龍租借地ハ我カ方ニ於テ之ヲ確保シ得ル  
 如ク所要ノ措置ヲ執ルコト  
 (六) 以上支那側ヲシテ我カ方ノ措置ノ公正なるナ  
 ル所以ヲ十分感得セシメ是以上望望ノ念  
 ツ冠サシメサル様指シサカ(支那側)カ愈

4

S 1.1.1.0 - 27

6351

0040

(原議用紙乙)

電信案

(三) 上海共同租界リ連カニ帝國ノ自定權ヲ確立  
 シタル上適多ナル特權ニ國民政府ニ之ヲ移駐ス  
 ルコト 國民政府對シテハ同租界ノ特殊性ニ  
 鑑ミ者分リ現状ヲ維持ス(キ)トテ明ラカナラシ  
 メ置クコト 佛伊西國ノ租界モ帝國ノ措

3

S 1.1.1.0 - 27

6350

0039

(原議用紙乙)

2496

電  
信  
案

戰時體制ヲ強化シ帝國ニ對スル戰事協力  
ノ實効ヲ興キタルニ努ムルコト

(原議用紙)

3.1.1.0-27

6352

0041

2497

政務局長

3  
91

國民政府參戰問題 (一七一、一三)

結果 卷青木重光會談

一、國民政府ハ大東亞戰爭勃發以來同甘共苦ノ精神ニ基キ帝國ノ戰  
争遂行ニ協力シツツアルトコロ此際寧ロ參戰ヲ斷行シ國民ノ積  
フ所ヲ示シ政府ノ立場ヲ明カニシ以テ前記政策ノ遂行ニ資シ積  
極的ニ大東亞戰爭完遂ニ協力スルニ若カサルコトヲ痛感スルニ  
至レリ  
二、帝國政府ハ現下大東亞戰爭カ益々深刻ヲ加ヘ支那ニ對シ協力ヲ  
求ムルコト愈々切實ヲ要スルモノアルニ鑑ミ此ノ際右國民政府  
ノ要望ヲ容レテ其ノ參戰ヲ實現シ支那官民ノ帝國ニ對スル協力  
ノ熱意ヲ喚起シ國民政府ノ政治力ヲ強化シ益々帝國ニ協力シ得  
ル體制ヲ整ヘシムルコトハ大東亞戰爭完遂ノ爲緊急ノ對策ニテリ

外  
務  
省

1.1.1.0-27

6353

0042

REEL No. A-0227

アジア歴史資料センター

左ノ通トス

(イ) 民生ノ安定及産業ノ復興ニ對スル協力

(ロ) 重慶敵産ノ返還及米英等ノ敵産ノ支那ニ對スル好意的處置

(ハ) 租界ノ返還 (佛伊租界返還ニ對スル斡旋ヲ含ム)

(ニ) 治外法權撤廢其ノ他不平等條約ノ改訂等

六 國民政府參戰ノ前後ニハ左ノ如キ手續ト順序トヲ執ルモノトス

(イ) 總理大臣渡支ノ上汪主席ニ對シ國民政府ノ要望ニ應シ參戰セシムヘキ旨ヲ通報スルト共ニ其ノ際帝國ノ採ルヘキ措置ノ内容ヲ提示ス (談話振別紙ノ通)

(ロ) 右通報後國民政府側ハ重光大使ト打合せノ上成ルヘク速ニ所

外務省

62 1.1.1.0.27

6355

0044

三 然レトモ國民政府ノ參戰ニ當リテハ帝國政府ハ之ニ對應シ充分政治的考慮ヲ加ヘ支那官民ヲシテ衷心大東亞戰爭ニ協力スルノ有意義ナルコトヲ感セシメ且ツ協力ヲ容易ナラシムル素地ヲ作り併セテ日支關係ノ將來ニ新タル希望ヲ繫カシムルニ足ル各般ノ措置ヲ講ジ以テ情勢ノ一大轉換ヲ圖ラサルヘカラス

四 而シテ帝國政府カ右ノ如キ措置ヲ講スルニ決定セル上ハ中央統帥及政府ノ各機關一體トナリ現地各機關亦一致シテ飽迄之ヲ實行スルノ堅キ決意ト用意トヲ以テ政策ノ徹底ヲ計リ以テ帝國ノ威信ヲ繫キ且ツ其ノ效果ヲ充分ニ發揮スルニ努力スルコト肝要ナリ

五 前記ノ趣旨ニ基キ國民政府參戰ノ際取ルヘキ帝國政府ノ措置ハ

外務省

4 1.1.1.0.27

6354

0043

2501

40

國民政府參戰ニ伴フ諸準備ニ關スル件

昭和十七年十一月二十七日  
連絡會議了解(持)

外務省

109 1.1.1.0-27 6357

0046

2500

94

要ノ内部的手續ヲ完了シ適當ノ時期ニ參戰ヲ宣言シ帝國政府  
ハ之ト同時ニ其ノ執ルヘキ措置ヲ表明シ且ツ兩國ノ間ニ一般  
的軍事協力ヲ約スルコトトス

(イ)帝國政府ノ表明セル措置ニ付帝國政府ハ引續キ國民政府ト協  
議シ急速ニ其ノ實現ヲ圖ル

以上

外務省

43 9 1.1.1.0-27 6356

0045



2503

104

別紙

内報振要領案

帝國ハ國民政府ノ參戰希望ヲ容レ近ク參戰ニ同意ノ方針ヲ決定セ  
 ルニ付茲ニ内報ス參戰ノ具體的時機ニ關スル帝國ノ意向ハ追テ改  
 メテ通報スヘシ

國民政府參戰ノ曉ハ共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲益々日華協力ノ實ヲ  
 舉ケ其ノ綜合力ヲ發揮スルノ要アルコト申迄モナキ次第ニシテ今  
 後ノ協力方法等ニ關シテハ追テ案ヲ具シテ貴方ト協議スルコトト  
 相成ルヘキ處貴方ニ於テモ參戰ニ伴ヒ愈々治下民心ヲ把握シテ同  
 甘共苦戰爭協力ニ邁進セシムル様諸般ノ準備ヲ整フルニ遺憾ナキ  
 フ期セラレタシ

尙本件ハ要檢メテ機微ニ亙リ且重大ナルヲ以テ參戰ニ關スル諸般  
 ノ準備其ノ他本件ニ關スル一切ノ要項ハ參戰實現ニ至ル迄日華双  
 方共ニ絕對極秘裡ニ取扱フコトト致度ニ付右御了承アリタシ

外務省

111 1.1.1.0-27

6359

0048

2502

103

向ヲ内報ス

一 重光大使歸任ノ上汪主席ニ對シ國民政府參戰ニ關スル帝國ノ意  
 向ヲ内報ス

ニ 國民政府參戰ハ明年一月中旬以後成ルヘク速ニ適當ノ機會ヲ捉  
 ヘテ之ヲ行ハシムルコトヲ目途トシテ諸般ノ準備ヲ整フ

三 國民政府參戰ニ伴フ諸準備ハ日華雙方共ニ參戰實現ニ至ル迄絶  
 對極秘裡ニ進ム

備考 一 國民政府參戰前汪主席ノ來ヲ適時德滙ス

ニ 國民政府參戰後適當ナル時機ニ總理國民政府ヲ訪問ス  
 ルコトアリ

外務省

1.1.1.0-27

6358

0047

2505

戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ件

一 戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ内容形式等ハ別紙第一要綱案ニ依ル

二 右取極ニ關聯スル日華間了解ノ内容形式等ハ別紙第二要綱案ニ依ル

外務省

11.3 1.1.1.0-27

6361

0050

2504

50

戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ件

昭和十七年十一月二十七日  
 總務會議了  
 辭會一畢

外務省

11.2 1.1.1.0-27 6360

0049

2507

106

別紙第二要綱案

一、日華基本條約締結交渉ノ際ニ於ケル「議事録抜萃」(兩國交渉委員署名)ト同様ノ方式ノ「議事録抜萃」ナル文書ヲ作成シ右文書ニ於テ左記趣旨ノ日華間了解ヲ明確ニスルコト

甲、戦争完遂ニ付テハ日華協力ニ閉シ諸取極ヲ實施シ圓滑確實ニ協同ノ實ヲ萬全ナラシムル爲由日華兩國當局間ノ連絡協談會ヲ設置スルコトニ意見一致セル旨

乙、國民政府ハ自強ノ途ヲ講シ戦争完遂ノ爲必要トスル生産ノ増強其レ他戦時經濟態勢ノ整備強化、戦争目的ニ對スル官民認識ノ徹底及戦時意識ノ昂揚普及並ニ治安維持ヲ強化等ニ付之ヲ確實ナル具現ヲ圖リ以テ戦争完遂ニ寄與スルモノナル旨

外務省

115 8 1.1.1.0 - 27

6363

0052

2506

別紙第一要綱案

一、本件取極ノ形式ハ「協定」「取極」等必シモ拘泥セサルモ成ルヘク「共同宣言」(稟前御裁可ノ上日華兩國全權委員調印)ノ方式ニ依ルコト

二、本件協定ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「米英ニ對スル共同ノ戦争ヲ完遂スル爲兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上政治上經濟上完全ナル協力ヲ爲スモノナルコトヲ宣言ス」

三、本件取極ハ調印ト同時ニ公表スルコト

外務省

114 8 1.1.1.0 - 27

6362

0051

2509

60

九龍租借地ニ關スル件

昭和十七年十一月二十七日  
連絡會議了解(特)

外務省

117 1.1.1.0-27

6365

0054

2508

739

日本側ハ右ニ對シ積極的ニ協力援助ヲ與ヘ此ノ際租界還付敵  
産處理等ニ付テモ好意的措置ヲ執ルモノナル旨  
ニ本件「議事録抜萃」ハ公表セサルコト  
註 國民政府宣戰布告中ニ豫メ日本側ト協議ノ上戰争目的ヲ明  
示セシムルコト

外務省

外務省

116 1.1.1.0-27

6364

0053

2511

別紙要綱案

一 戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ニ伴フ日華兩國交渉委員署名ノ「議事録抜萃」ヲ以テ左記趣旨ヲ明確ニスルコト

「國民政府ハ九龍方面舊英國租借地ニ對スル日本國軍ノ占領繼續ヲ認ムルモノナル旨」

ニ 本件「議事録抜萃」ハ祕密トスルコト

外務省

169 8 1.1.1.0-27

6367

0056

2510

九龍租借地ニ關スル件

一 九龍租借地確保ニ關スル此ノ際ノ措置トシテハ別紙要綱案ニ依ル

ニ 九龍租借地ニ關スル我方ノ最終的處理方針ハ香港ノ歸屬處理問題等トモ併セ將來ノ決定ニ俟ツ

外務省

118 8 1.1.1.0-27

6366

0055

2513

第一、戦争協力確保ノ爲ノ日華間基本取極  
 國民政府參戰ヲ機トシ國民政府ノ戦争協力ヲ確保シ眞ニ更新支  
 那ト一體戦争完遂ニ邁進スル爲該政府トノ間ニ基本的取極ヲ締  
 結ス

第二、國民政府ノ政治力強化  
 國民政府ノ政治力ヲ強化スル爲差當リ左ノ措置ヲ講ス

一、國民政府ノ財政強化

イ、國民政府ヲシテ自ら其ノ財政ヲ強化スル爲有ラニル方策  
 ヲ講セシムルモノトシ特ニ該政府治下ノ治安ヲ確立シ經濟  
 カノ伸張ヲ圖ラシム

ロ、帝國ハ右國民政府財政自疆方策ニ對シ援助ヲ與フルモノ

外務省

33 22 S 1.1.1.0-27

6369

0058

2512

230

大東亞戦争完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ  
 基ク具體的方策ヲ案シ

昭和十七年十二月十八日  
 大本營政府連絡會議決定ノ案

外務省

32 21 S 1.1.1.0-27

6368

0057

圈ニ於テ左ノ通措置ス  
 イ、帝國ハ省政府以下ノ各地方政府人事ニ關シテハ其ノ  
 ナルモノニ付豫メ日本側ニ通知連絡セシムル以外支那側ノ  
 自由處置ニ任シ之ニ干渉セサルコト  
 ロ、省政府以下ノ施政ニ關スル日本側ノ指導乃至要求ハ作戰  
 警備ニ關スルモノニ限定スルヲ本則トシ爾他ノ行政部面ニ  
 テリテハ廣ク支那側ニ任セ支那側ノ責任ト創意トヲ活用シ  
 其ノ自發的活動ニ依ル政治力強化及積極的對日協力ヲ促進  
 スルコト  
 ハ、帝國ハ支那側上級政府ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹ヲ  
 助長スルモノトシ末梢ニ於ケル干渉ニ依リ支那側施政ノ中

外務省

トシ特ニ治外法權等ニ基ク課税ニ關スル我方特權ニ付調整  
 ヲ加フルト共ニ國民政府ノ關稅、轉口稅及統稅等ノ稅率其  
 ノ他ノ合理的改正竝ニ儲備券ノ價值維持等ニ付所要ノ援助  
 ヲ與フ  
 ニ國民政府ノ地方政府ニ對スル關係調整  
 極力地方的特殊性ヲ調整シ國民政府ノ地方政府ニ對スル指導  
 ヲ強化セシム此ノ際特ニ中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情  
 的相剋ナカラシムルノミナラス進テ融和的空氣ヲ醸成セシ  
 ノ中央地方共ニ更新支那ノ構成分子トシテ協心戮力戰爭完遂  
 ニ邁進セシム  
 之カ爲帝國ハ差當リ日華基本條約及附屬諸取極ニ反セサル範

外務省

三、租界還付及北京公使館區域移管  
 國民政府參戰ヲ機トシ帝國ノ專管租界還付竝ニ上海共同租界  
 厦門共同租界及北京公使館區域移管ノ爲國民政府トノ間ニ所  
 要ノ取極ヲ締結スルト共ニ關係第三國ニ對シ同調方適時斡旋  
 ス

四、治外法權撤廢  
 國民政府參戰ヲ機トシ治外法權撤廢ニ關スル具體案ヲ審議作  
 成セシムル目的ヲ以テ日華專門委員會ヲ設置スル爲國民政府  
 トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結ス

五、在支敵產處理  
 在支敵產處理ハ既定方針ニ依ルモノトシ國民政府トノ間ニ所

外務省

3.6 26 1.1.1.0-27 6373

0062

絶分斷スルカ如キコトナカラシムルコト  
 ニ、華北政務委員會ト中央政府トノ權限關係ニ付テハ日華基  
 本條約附屬交換公文(甲)ニ基キ所要ノ調整整理ヲ圖ラシ  
 ムルト共ニ勉メテ兩者間ノ空氣ヲ融和セシメ且相互ノ經濟  
 的關聯性ヲ一層密ナラシムルコト  
 \*、蒙疆ニ關シテハ華北トノ間ニ相互ノ經濟的關聯性ヲ特ニ  
 密ナラシムルコト  
 へ、武漢及厦門ニ關シテハ廣東ニ準シ爲シ得ル限り國民政府  
 ノ政治力ヲ滲透セシムルコト  
 ト、海南島ニ關シテハ現狀ニ從ヒ日華基本條約秘密交換公文  
 (甲)ヲ參酌シ所要ノ調整ヲ行フスト

外務省

35 25 1.1.1.0-27 6372

0061



第四、爾他ノ具體的方策

側ヲシテ參加均霑セシム

(ロ) 一般物資ノ生産及配給ニ當リテモ日本側ノ獨占ヲ避ケ支那

其ノ資本、人的構成、免稅特權其ノ他ニ付根本的調整ヲ加

(4) 日支合辦ノ支那法人ヲシテ名實共ニ支那側ノ監督下ニ置キ

國民政府政治的強化ニ資スル爲

ニ支那側官民ノ積極的ナル經濟活動及對日協力ヲ促進シ併セテ

府ノ政治力強化ニ資ス

本施策實行ニ當リテモ支那側ノ責任ト創意トヲ活用シ國民政

流出ヲ阻止ス但シ之が為占據地域内ノ物資ノ交流ヲ阻礙スルコトナ

0064

30 2f 6 1.1.1.0-27

6375

要ノ取極ヲ爲ス

第三、經濟施策

差當リ支那ニ於ケル物資ノ獲得及統制並ニ支那側ノ對日經濟協  
力促進ニ關シ左ノ措置ヲ講ス

一、帝國ノ戰爭完遂上必要トスル物資ノ取得ヲ増大シ軍ノ自活ヲ

確保シ併セテ民生ノ維持ニ資スル爲占據地域内ニ於ケル緊要

國防物資ノ重點的且效率的取得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ

圖ル

之ヲ爲特ニ物資統制ヲ合理化スルト共ニ物資買上價格ノ適正

化ヲ圖ル

尙前線ニ在リテハ對敵經濟壓迫ヲ考慮シ戰爭必需物資ノ對敵

外務省

37 2f 6 1.1.1.0-27

6374

0063

2521

2/8  
別紙  
甲  
字

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク具體的方策ニ準據シ國民政府參戰ヲ機トシ同政府ト締結スヘキ諮取極ニ關スル措置要領(乘)

昭和十七年十二月十八日  
大本營政府連絡會議了解

外務省

40 30 S 1.1.1.0 - 27 6377 0066

2520

爾他ノ具體的方策ハ所要ニ應シ別ニ之ヲ定ム

外務省

39 29 S 1.1.1.0 - 27 6376 0065

2523

目次

一 戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件

二 戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ内容形式等ハ別紙第一要綱案ニ依ル

三 右取極ニ關聯スル日華間了解ノ内容形式等ハ別紙第二要綱案ニ依ル

外務省

42 1.1.1.0-27 6379

0068

2522

目次

一 戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件

二 帝國專管租界還付ニ關スル件

三 上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル件

四 佛伊租界還付方斡旋ニ關スル件

五 北京公使館區域移管ニ關スル件

六 治外法權撤廢ニ關スル件

七 在支敵産處理ニ關スル件

外務省

41 1.1.1.0-27 6378

0067

193

2524

別紙第一

(一) 戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ形式ハ「協定」「取極」等必シモ拘泥セザルモ成ルヘク、「共同宣言」(事前御裁可ノ上日華兩國全權委員調印)ノ方式ニ依ルコト

(二) 本件取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「米英ニ對スル共同ノ戦争ヲ完遂スル爲兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上政治上經濟上完全ナル協力を爲スモノナルコトヲ宣言ス」

(三) 本件取極ハ調印ト同時ニ公表スルコト

外務省

0069

43 1.1.1.0-27 6380

194

2525

別紙第二

(一) 日華基本條約締結交渉ノ際ニ於ケル「議事録抜萃」(兩國交渉委員署名)ト同様ノ方式ノ「議事録抜萃」ナル文書ヲ作成シ右文書ニ於テ左ノ趣旨ノ日華間了解ヲ明確ニスルコト

「國民政府ハ各般ニ亘リ自疆ノ途ヲ講シ廣ク民心ヲ獲得シ時ニ戦争完遂ノ爲必要トスル生産ノ増強、戦争目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ以テ戦争完遂ニ寄與スルモノナル旨

日本側ハ右ニ對シ積極的ニ協力援助ヲ與ヘ此ノ際租界還付、治外法權撤廢、敵産處理等ニ付テモ好意的措置ヲ執ルモノナル旨」

外務省

0070

44 1.1.1.0-27 6381

2527

ニ帝國專管租界還付ニ關スル件  
帝國專管租界ノ還付ニ關シ別紙第三要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ  
戰爭協力ニ關スル日華共同宣言ト同時ニ締結シ且公表ス

外務省

46 36 1.1.1.0-27 6383

0072

2528

(二) 本件「議事録抜萃」ハ公表セサルコト  
註、國民政府宣戰布告中ニ豫メ日本側ト協議ノ上戰爭目的ヲ明  
示セシムルコト  
右國民政府戰爭目的ニ付テハ帝國ノ戰爭目的ニ同調シ併セテ  
獨伊樞軸國及「タイ」國ノ戰爭目的ヲモ勘案シ概ネ左ノ趣旨  
ニ依ル如ク適宜國民政府側ニ要望スルコト  
「國民政府ノ戰爭目的ハ日本ト協力シテ米英勢力ヲ一掃シ以  
テ新中國ヲ建設シ東亞ノ解放ヲ圖リ延イテ世界全般ノ公正  
ナル新秩序招來ニ寄與スルニ在ルコト」

外務省

45 35 1.1.1.0-27 6382

0071

2529

上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル件

上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關シ別紙第四要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戦争協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結シ其ノ一部ヲ公表ス

尙本件實施ニ關シテハ左ニ依ル

(一) 本件ハ關係第三國ノ意向及上海佛租界ノ處理如何ニ拘ラス之ヲ實行スルモノトス

(二) 上海共同租界ノ移管ハ成ルヘク速ニ之ヲ實施シ遅クモ昭和十八年中ニ之ヲ完了スルモノトス

(三) 厦門共同租界ノ移管ハ速ニ之ヲ實施スルモノトス

外務省

40 1.1.1.0.27 6385

0074

2528

別紙第三

帝國專管租界還付ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「日本國政府ハ現ニ日本國カ中華民國ニ於テ有スル專管租界ヲ中華民國國民政府ニ還付ス

中華民國國民政府ハ舊租界ニ於ケル日本國臣民ノ居住及福祉等ニ付テハ少クトモ從來ノ租界施政ノ程度ヲ維持スルモノトス

日本國政府及中華民國國民政府ハ夫々同數ノ委員ヲ任命シ本取極ノ實施ニ關シ所要ノ事項ヲ議定セシム」

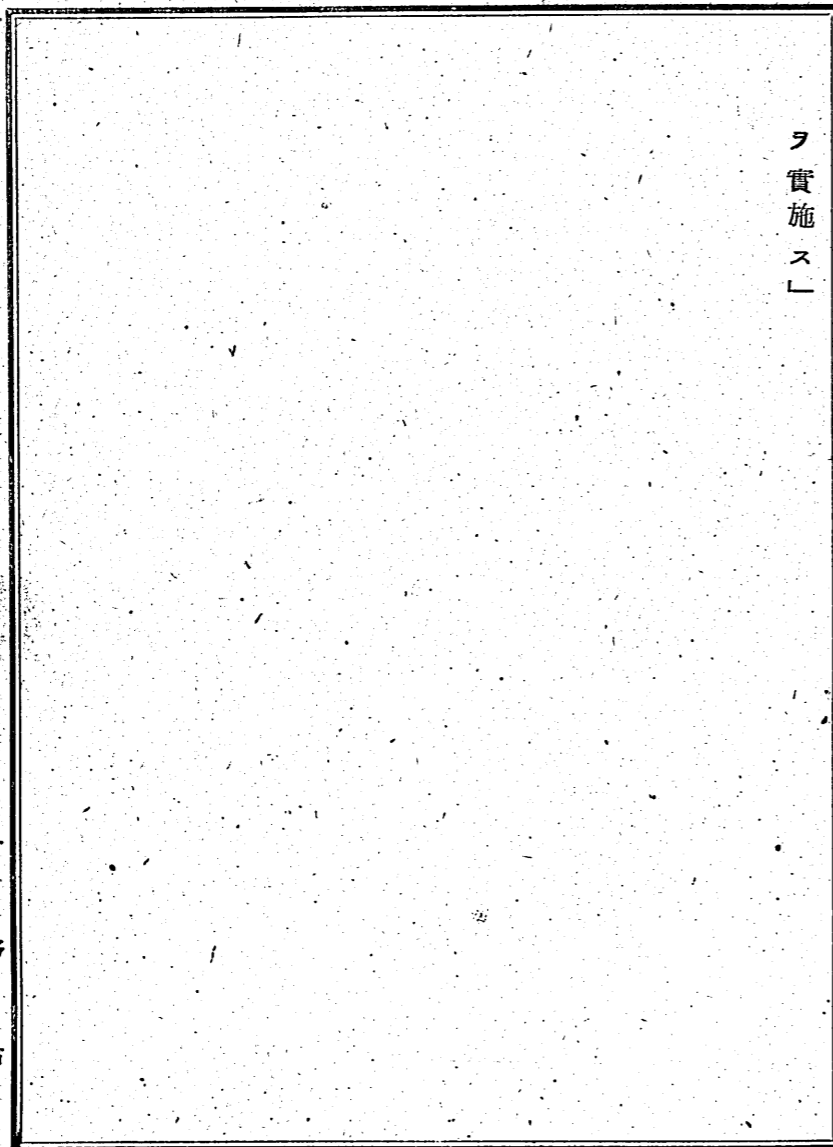
外務省

47 1.1.1.0.27 6384

0073

2531

20



ヲ實施ス

外務省

1.1.1.0-27

6387

0076

2530

199

別紙第四

(一) 上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル正式取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルモノトシ本取極ハ之ヲ公表スルコト

「日本國政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ中華民國國民政府ニ於テ成ルヘク速ニ上海共同租界及厦門鼓浪嶼共同租界ヲ回收スルコトニ同意ス」

(二) 右正式取極ト同時ニ兩國交渉委員署名ノ「議事錄拔萃」ヲ以テ左ノ趣旨ヲ内容トスル取極ヲ爲シ之ヲ秘密トスルコト

□ 上海共同租界移管實施ノ時期ハ同租界内ニ於ケル友好國權益ノ介奔其ノ他諸般ノ事情アルニ付此等ノ處理ヲ了シタル上別ニ協議決定スヘク又厦門鼓浪嶼共同租界移管ハ速ニ之

外務省

1.1.1.0-27

6386

0075

2533

S 1.1.1.0 - 27

6389

北京公使館區域移管ニ關スル件

北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中國側ニ移管スル爲別紙第五要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結公表シ速ニ之ヲ實施ス

外務省

52 57 51 42

0078

2532

四 佛伊租界還付方斡旋ニ關スル件

(一) 帝國ノ專管租界還付取極締結ニ關聯シ伊國ニ對シ其ノ租界返還方懲滙ス右租界返還ハ帝國ニ倣ヒ原則トシテ無條件トス但シ無條件返還ニ應セサル場合ハ租界ノ實狀ニ應シ一定期間過渡的措置ヲ講スルコトヲ考慮ス

(二) 佛國ニ對シテハ前項ニ準スルモ其ノ時機ハ別途之ヲ定ム

(三) 國民政府ニ對シテハ佛伊租界返還方斡旋スヘキ旨説明スルニ止メ之カ爲ノ形式的文書ハ作成セス

外務省

57 58 1.1.1.0 - 27

6388

0077



1.1.1.0 - 27 6391  
2535

六 治外法權撤廢ニ關スル件  
帝國ハ日華基本條約ニ基キ逐次支那ニ於ケル治外法權ノ撤廢ヲ行  
フモノトス  
之カ爲別紙第六要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日  
華共同宣言」ト同時ニ締結シ且公表ス。

外務省

53 44

0080

1.1.1.0 - 27 6390  
2534

203

別紙第五  
北京公使館區域移管ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト  
「日本國政府ハ北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中華民  
國國民政府ニ於テ速ニ同收スルコトニ同意ス」

外務省

53-52 43

0079

外務省

ケル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之ヲ實施ニ移シテ全面的撤  
廢ニ及フコトトシ先ツ國民政府ニ對スル財政援助ノ目的  
ニテ課税ニ關スル我方特權ニ付速ニ調整ヲ加フル爲専門  
委員會ヲシテ先ツ課税問題ノ研究ニ當ラシムルモノトス

55 46

外務省

別紙第六  
治外法權撤廢ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト  
「日本國政府ハ中華民國ニ於テ有スル其ノ治外法權ノ撤廢ヲ速ニ  
實行スル意向ヲ有スルヲ以テ日華兩國政府ハ速ニ同數ノ委員ヨ  
リ成ル専門委員會ヲ設置シ右ニ關スル具體案ヲ審議作成セシム  
中華民國國民政府ハ日本國ノ治外法權ノ部分的又ハ全般的撤廢  
ニ伴ヒ自國領域ヲ日本國國民ノ居住營業ノ爲開放スヘク且日本  
國國民ニ對シテハ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘサ  
ルモノトス  
右事項ニ關シ前記専門委員會ヲシテ併セテ研究セシム」  
註、帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行ハ前記専門委員會ニ於

54 45

別紙第七

在華帝國大使及國民政府外交部長間往復書翰ヲ以テ在支敵産處理ニ關シ左ノ趣旨ノ取極ヲ爲スコト

一、日本國政府ハ中華民國ニ於ケル日本側押收ノ敵國、敵國人及敵國系法人ノ財産ハ戰爭完遂上ノ必要ニ依リ日本國自ラ之ヲ處理スルモノノ外總テ合理的方法ニ依リ速ニ之ヲ國民政府ニ移管スルノ用意アルニ付右了承アリタキ旨（在華帝國大使書翰内容要旨）

二、中華民國國民政府ハ右日本側ノ好意的措置ヲ欣然受諾スルモノナル旨（國民政府外交部長書翰内容要旨）

外務省

57 48

0084

七、在支敵産處理ニ關スル件

在支敵産處理ニ關シ別紙第七要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共同宣言」ヲ同時ニ行ヒ右ニ關シ公表シ速ニ實施ス

備考 本件公表ノ内容ハ別ニ定ム

外務省

56 56 47

0083

2541

年十一月十三日)ハ孰レモ大東亞戰爭發生前ノ事態ノ下ニ於テ作  
成セラレタルモノテアリマスルノテ本案ハ右ノ諸決定トハ考案ノ  
事情ヲ著シク異ニスル次第テ御座イマス  
接シマスルニ大東亞戰爭發生前ニ於キマシテハ帝國ハ對支處理ニ  
當リ成ルヘク米英トノ衝突ヲ避ケ出來得ヘクンハ米英ヲモ利導シ  
事變解決ニ資セシメントノ考慮カアリマシタノテ半面ニ於テ支那  
ニ於テ米英ノ跳梁ヲ現存セシメツツ事變處理ノ方途ヲ講セサルヲ  
得サル事情ニ置カレテ居リマシタル關係モアリ自然事變處理方策  
ニ付テモ今日トハ異ナツタ考慮ヲ用ヒサルヲ得ナカツタ次第テ御  
座イマス  
然ルニ大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キマシテハ事情ハ激變致シ帝

外務省

2

S 1.1.1.0 - 27

6397

0086

S 1.1.1.0 - 27 6396

2540

18  
A

御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理  
根本方針」ニ關スル內閣總理大臣提案理由説明  
之ヨリ會議ヲ開キマス。御許シテ得タルニ依リマシテ本日ノ議事  
ノ進行ハ私カ之ニ當リマス  
謹ミテ大本營陸海軍部及政府ヲ代表致シ議題「大東亞戰爭完遂ノ  
爲ノ對支處理根本方針」ノ提案理由ヲ御説明申上ケマス。  
本案ハ大東亞戰爭發生後現下ノ新事態ノ下ニ於テ大東亞戰爭完遂  
ノ爲帝國トシテ執ルヘキ對支處理根本方針ヲ定メントスルモノテ  
御座イマス曩ニ御前會議ニ於テ決定セラレマシタル「支那事變處  
理根本方針」(昭和十三年一月十一日)、「日支新關係調整方針  
(昭和十三年十一月三十日)及「支那事變處理要綱」(昭和十五

外務省

1

49

0085

ス  
 斯ル見解ノ下ニ大本營陸海軍部及政府協同シテ「大東亞戰爭完遂  
 ノ爲ノ對支處理根本方針」ヲ作成シ茲ニ提案致ス次第テ御座イマ  
 ス  
 議題ニ付キマシテハ大東亞大臣、外務大臣及大本營陸海軍部ヲ代  
 表シテ參謀總長ヨリ夫々説明ヲ致シマスカ先ツ議題ヲ朗讀致サセ  
 マス

外務省

ヘラレマス  
 國ノ對支處理ハ對米英戰爭遂行トノ關係及現段階ニ於ケル支那ノ  
 事態其ノ他諸般ノ情勢ニ鑑ミ新ナル構想ヲ加フルヲ必要トスルニ  
 至ツタ次第テ御座イマス  
 畏クモ米英ニ對スル宣戰ノ大詔ヲ拜シマシテヨリ茲ニ一年有餘其  
 ノ間内外ノ情勢殊ニ重慶ノ動向、更新支那ノ事態、世界情勢全般  
 ノ推移等ヨリ稽ヘ對支處理ニ關シテハ帝國ハ速ニ日支提携ノ根本  
 精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根  
 據名目ノ覆滅ヲ圖リ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進シ成ルヘク速  
 ナル時機ニ於テ對支全面的處理ノ礙地ヲ確立シ對米英戰爭遂行ニ  
 專念シ得ルニ至ル事態ノ造成ニ努ムルコトカ今日國家ノ急務ト考  
 ヘラレマス

外務省